

# ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報室（☎65-6504）までお知らせください。市公式Facebookページでもさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews>

## 2月7日(土)～4月19日(日) 春の香り運ぶ『馬酔木展』

大通寺の境内で開催中の馬酔木(あせび)の盆栽展。ながはま御坊表参道商店街振興組合、馬酔木展実行委員会主催で、全国的にも例がない珍しい展示となっています。花は可憐で鈴蘭に似た壺型の小花を房状につけ、幹の直径20cm以上、高さ2m以上、樹齢約300年以上という古木もあります。赤・白・ピンクの約60鉢の馬酔木が、見る人を楽しませています。



## 2月8日(日) 手作りの舞台と自慢の歌声を披露

結成5周年を迎えた長浜小学校合唱団の定期演奏会が、長浜文化芸術会館で開催されました。NHK学校音楽コンクール・滋賀県コンクールで銀賞を受賞した曲などを披露したほか、5年間の歩みをスライドショーで紹介。

ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」では、保護者らの手作り衣装と本格的なセットの舞台上、のびやかな歌声と情感たっぷりの演技で、家族の絆やふるさとへの愛を表現しました。



## 2月9日(月) 高月町馬上のオコナイ

各集落の年頭行事として村内安全、五穀豊穡を祈る湖北地方特有の祭「オコナイ」。

高月町馬上では、5年に一度の大祭にあたり、雪の降るなか、「鏡負い」と呼ばれる、顔を白く塗り、太いひげを蓄え、縄と鏡餅を背負った男3人が町内を練り歩きました。その後、ケヤキの木に餅や短冊を飾った「バイダマ」や膳などを持った行列とともに神社や地藏堂へ奉納しました。



## 2月10日(火) 駅前から地域の魅力発信

再開発を進めている長浜駅前の南地区で、株式会社平和堂の新店舗「モンデクール長浜」がオープンしました。

長浜駅と直結した2階店舗部分には、お土産などを販売する「おうみお土産小路」を設置し、市内や県内各地の特産品、およそ600品を取り揃え、中でもお酒コーナーには、地元15の酒蔵から取り寄せた商品が並び、地域の魅力をPRしています。



## 出会うの扉

このコーナーでは、市内で活動している団体・サークルを紹介します。広報紙でPRして活動の輪を広げ、仲間を増やしてみませんか。掲載希望は市民広報室まで（☎65-6504）。  
※営利や宗教・政治・選挙を目的とするもの、限られた地区の住民が参加する活動や団体などは掲載できません。

### 団体名 湖北オーケストラ

〈団長〉新宮 英哉さん  
連絡先：益子 進也さん(☎52-5689)

活動場所 養蚕の館(相撲町)

活動日時 毎週日曜日 10時～12時



### 活動PR

私たちは、約8年前に創設された地元アマチュア演奏者によるオーケストラです。

演奏曲としては、歌劇の序曲や組曲などクラシック曲を中心に取り上げています。現在は「未完成交響曲」と「アルルの女第2組曲」を練習しています。

演奏機会は11月の“長浜音楽祭”のほか、老人ホームや病院の訪問演奏など。毎年12月には長浜赤十字病院でクリスマスコンサートも開催しています。

ヴァイオリンなどの弦楽器や、管楽器、打楽器などの楽器に興味のある人は、是非おいでください。経験の有無は問いません。



## 2月11日(水・祝) 和の魅力再発見

地場産業「はまちりめん」と長浜盆梅展のタイアップイベント「長浜きもの早春のつどい」が行われ、過去最多となる115人が参加。

着物姿の参加者たちは、染織家・吉岡幸雄さんの染織についての講演会や日本の色彩についてのワークショップに挑戦したほか、ライトアップされた盆梅展、ジャズを聴きながらの食事会や抽選会を楽しみました。



## 2月17日(火) 国境を越えたボランティア支援を

書き損じのハガキ回収は、教育を受けられない世界の子どもたちや読み書きのできない人々に、識字教育支援などを行う「ユネスコ世界寺子屋運動」の一環です。

この日は、書き損じハガキを資金として活用してもらおうと、長浜小学校ボランティア委員会が校内で呼びかけて回収したおよそ700枚を長浜ユネスコ協会に手渡しました。